令和元年度決算（※令和元年度は公営企業会計へ移行後初めての決算となっています）　　下水道事業

1．経営の健全性・効率性　　（単位：千円）

	算出式	R1算出
経常収支比率（%）	経常収益 / 経常費用 ×100	1,499,969＋1,768,123 / 2,865,089+284,503 ×100=103.76%

【指標の意味】
使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標です。

（単位：千円）

	算出式	R1算出
企業債残高対事業規模比率（%）	企業債現在高合計－一般会計負担額 / 営業収益－受託工事収益－雨水処理負担金 ×100	17,142,384 / 1,499,969−170,784−147,561 ×100=1,450.75%

【指標の意味】
使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。

（単位：千円）

	算出式	R1算出
経費回収率（%）	下水道使用料 / 汚水処理費（公費負担分を除く） ×100	1,180,800 / 1,289,422 ×100=91.58%

【指標の意味】
使用料で賄うべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標です。100%を下回っているので、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。

（単位：千円/m3）

	算出式	R1算出
汚水処理原価（円）	汚水処理費（公費負担分を除く） / 年間有収水量 ×1000	1,289,422 / 8,449,222 ×1000=152.61円/m3

【指標の意味】
有収水量1m3あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。

（単位：m3）

	算出式	R1算出
施設利用率（%）	晴天時一日平均処理水量 / 晴天時現在処理能力 ×100	31,126 / 41,400 ×100=75.18%

【指標の意味】
施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。
※単独処理場のみの施設利用率は、26,692÷41,400=64.47%になります。

（単位：人）

	算出式	R1算出
水洗化率（%）	現在水洗便所設置済人口 / 現在処理区域内人口 ×100	77,658 / 79,670 ×100=97.47%

【指標の意味】
現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標です。
公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%に近い割合となっていることが望ましいです。

2．老朽化の状況　　（単位：m）

	算出式	R1算出
有形固定資産減価償却率（%）	有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 ×100	1,819,386 / 43,060,153 ×100=4.23%

【指標の意味】
有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか示す指標です。

	算出式	R1算出
管渠改善率（%）	改善（更新・改良・維持）管渠延長 / 下水道布設延長 ×100	950 / 273,000 ×100=0.35%

【指標の意味】
当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できます。